

氏名 赤 木 隆 文

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 博乙第 2007 号

学位授与の日付 平成元年 6 月 30 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）

学 位 論 文 題 目 膀胱癌における尿中 Tissue Polypeptide Antigen に関する研究

論 文 審 査 委 員 教授 赤木忠厚 教授 折田薫三 教授 木村郁郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Tissue Polypeptide Antigen (TPA) は、臓器特異性はないが各種固形癌の腫瘍マーカーとして注目されてきている。

尿路に突出している膀胱癌では、尿中TPA測定が有用と考えられ、基礎的・臨床的検討を行った。尿中TPAは二抗体法によるRIA法にて測定した。

24時間尿TPAと1回尿TPAの比較検討では、pH補正した1回尿が最も24時間尿と良好な相関 ($r = 0.813$) を示し、pH補正のみの1回尿測定で充分臨床応用が可能であることが判明した。

膀胱癌患者82例について尿細胞診と比較して臨床上的検討をおこなったところ、尿中TPAの陽性率は64.6%と尿細胞診の61.0%よりやや良好な結果を得た。さらに両者を組合せると79.3%とより良好な陽性率が得られ、膀胱癌のスクリーニング・モニタリングに充分活用し得ると考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は尿中のTissue Polypeptide Antigenの膀胱癌における腫瘍マーカーとしての有用性を検討したものであるが、腫瘍マーカーとして臨床応用可能であること、さらに尿細胞診と併用することによりスクリーニング・モニタリングに対する有用性が増すことを明らかにした価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。